平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月7日

上場会社名　青山商事株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　8219　URL　http://www.aoyama-syouji.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長兼執行役員社長　(氏名) 青山　理
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼専務執行役員　(氏名) 宮武　真人　TEL 084-920-0050

四半期報告書提出予定日　平成24年8月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	51,728	4.9	5,112	19.7	4,845	9.7	2,551	5.5
24年3月期第1四半期	49,323	△1.1	4,269	26.7	4,418	138.5	2,418	―

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　2,390百万円　(13.4%)　24年3月期第1四半期　2,108百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	40.82	40.80
24年3月期第1四半期	38.03	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	327,298	231,169	69.9
24年3月期	337,283	233,518	68.6

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　228,914百万円　24年3月期　231,306百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	20.00	―	20.00	40.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		20.00	―	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	88,500	5.5	2,900	△6.3	3,100	64.1	1,300	191.5	20.80
通期	205,900	2.9	18,300	0.1	18,900	△1.7	9,700	6.6	155.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.5「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	67,394,016 株	24年3月期	67,394,016 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	5,813,811 株	24年3月期	3,813,804 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	62,503,874 株	24年3月期1Q	63,580,343 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 5
３．四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 8
四半期連結損益計算書 …… 8
四半期連結包括利益計算書 …… 9
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

≪セグメント別業績≫ （単位：百万円）

	売上高				セグメント利益（営業利益）			
	当第１四半期	前第１四半期	増減額	伸率(%)	当第１四半期	前第１四半期	増減額	伸率(%)
紳士服販売事業	42,587	41,691	896	2.2	4,540	3,827	712	18.6
カード事業	821	903	△81	△9.0	101	△0	102	―
商業印刷事業	2,726	3,108	△382	△12.3	117	194	△76	△39.6
雑貨販売事業	4,226	4,281	△55	△1.3	204	218	△14	△6.5
その他	2,404	846	1,558	184.2	123	△28	152	―
調整額	△1,038	△1,507	469	―	25	59	△33	―
合計	51,728	49,323	2,405	4.9	5,112	4,269	842	19.7

（注） セグメント別売上高、セグメント利益（営業利益）はセグメント間取引相殺消去前の数値であります。

＜紳士服販売事業＞

〔青山商事(株)スーツ事業、ブルーリバース(株)、(株)エム・ディー・エス、(株)栄商、服良(株)〕

当第１四半期連結累計期間（平成24年４月１日から平成24年６月30日まで）におけるわが国経済は、海外経済の減速や電力供給不足など先行き不透明な状況にあるものの、東日本大震災からの復興需要等を背景に、緩やかな回復傾向が続き、個人消費につきましても持ち直しの兆しが見られました。

このような状況下、主な事業であります青山商事(株)のスーツ事業につきましては、一都三県を中心とした着実な出店、移転等を実施するなどマーケットシェア拡大を図るとともに、クールビズ商品等の品揃えを強化した結果、スーツやシャツ、スラックスなどについては堅調に推移いたしましたが、礼服などが低調に推移したことなどから、既存店売上高は前年同期比99.8%となりました。

なお、当第１四半期中のメンズスーツの販売着数は前年同期比103.2%の625千着となりました。平均販売単価は前年同期比98.6%の23,507円となりました。

店舗につきましては、当第１四半期中に「洋服の青山」において５店舗を出店（内４店舗を移転、建替）いたしました。また、「ザ・スーツカンパニー」は２店舗を出店し、「ユニバーサル　ランゲージ」は１店舗を移転いたしました。

この結果、平成24年６月末現在の店舗数は下記のとおりであります。

〔業態別店舗数（平成24年６月末現在）〕 （単位：店）

業態名	洋服の青山	ザ・スーツ カンパニー	ユニバーサル ランゲージ	合計
店舗数	750	40	3	793

こうしたことから、当第１四半期累計期間の紳士服販売事業の売上高は、前年同期比102.2%の425億87百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比118.6%の45億40百万円となりました。

なお、当事業の売上高はセグメント間取引相殺消去前の数値であります。

＜カード事業＞〔(株)青山キャピタル〕

当事業につきましては、改正貸金業法等の影響などにより、売上高は前年同期比91.0%の８億21百万円、セグメント利益（営業利益）は１億１百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）０百万円）となりました。

なお、平成24年５月末現在の「ＡＯＹＡＭＡカード」の有効会員数は364万人となりました。

＜商業印刷事業＞〔(株)アスコン〕

当事業につきましては、既存取引先の受注減などにより、売上高は前年同期比87.7%の27億26百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比60.4%の１億17百万円となりました。

＜雑貨販売事業＞〔(株)青五〕

当事業につきましては、業界内の競争激化などにより、売上高は前年同期比98.7%の42億26百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比93.5%の２億４百万円となりました。

店舗につきましては、当四半期中に非効率な２店舗を閉店したため、平成24年５月末の店舗数は130店舗となりました。

＜その他＞〔青山商事(株)カジュアル・リユース事業、(株)イーグルリテイリング、(株)glob〕

その他の事業につきましては、売上高は前年同期比284.2%の24億４百万円、セグメント利益（営業利益）は１億23百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）28百万円）となりました。

青山商事(株)カジュアル・リユース事業につきましては、既存店売上高は105.0%となりました。平成24年６月末の店舗数は34店舗（「キャラジャ」25店舗、「リーバイスストア」４店舗、「セカンドストリート」４店舗、「ジャンブルストア」１店舗）であります。

(株)イーグルリテイリングにつきましては、「アメリカンイーグルアウトフィッターズ」を２店舗出店いたしました。

また、(株)globにつきましては、飲食事業として「焼肉きんぐ」をＦＣ展開しており、平成24年６月末の店舗数は７店舗であります。

＜連結経営成績＞

上記の結果、当第１四半期連結累計期間の当社グループにおける売上高は、前年同期比104.9%の517億28百万円、営業利益は前年同期比119.7%の51億12百万円となりました。

経常利益は、「包括的長期為替予約契約(クーポンスワップ契約)」等に係るデリバティブ評価損５億41百万円(前年同期はデリバティブ評価損78百万円)を営業外費用として計上したことなどにより、前年同期比109.7%の48億45百万円となりました。

特別損失では、減損損失１億23百万円、投資有価証券評価損２億98百万円など、合計４億58百万円を計上いたしました。

この結果、四半期純利益は前年同期比105.5%の25億51百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末における資産について、流動資産は1,646億36百万円（前連結会計年度末比61億30百万円減）となりました。主な要因は、現金及び預金が59億６百万円、受取手形及び売掛金が27億51百万円、有価証券が15億41百万円それぞれ減少しましたが、営業貸付金が36億75百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、1,626億32百万円（前連結会計年度末比38億48百万円減）となりました。主な要因は、投資有価証券が30億３百万円、敷金及び保証金が11億82百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は3,272億98百万円（前連結会計年度末比99億84百万円減）となりました。

負債について、流動負債は525億61百万円（前連結会計年度末比78億８百万円減）となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が25億６百万円、未払法人税等が53億30百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は、435億67百万円（前連結会計年度末比１億73百万円増）となりました。主な要因は、預り保証金が１億78百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は961億29百万円（前連結会計年度末比76億35百万円減）となりました。

純資産合計は、2,311億69百万円（前連結会計年度末比23億49百万円減）となりました。主な要因は、自己株式による減少額が34億21百万円増加しましたが、利益剰余金が12億80百万円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

本資料の発表日現在におきましては、平成24年５月11日に発表した連結業績予想を変更しておりません。なお、業績予想におけるデリバティブ評価損益につきましては、平成25年３月末の為替相場、日米金利差が平成24年３月末と不変であるとの前提のもとに、通期で22億円のデリバティブ評価益(営業外収益)を予想しております。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

当該変更に伴う当第１四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,318	31,411
受取手形及び売掛金	14,846	12,095
有価証券	33,158	31,617
商品及び製品	41,546	41,065
仕掛品	988	1,184
原材料及び貯蔵品	799	753
営業貸付金	38,000	41,676
その他	4,406	5,126
貸倒引当金	△297	△293
流動資産合計	170,767	164,636
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	53,156	53,598
土地	30,758	31,057
その他（純額）	6,761	6,636
有形固定資産合計	90,676	91,293
無形固定資産	2,743	3,094
投資その他の資産		
敷金及び保証金	27,691	26,508
その他	45,527	41,891
貸倒引当金	△157	△155
投資その他の資産合計	73,061	68,244
固定資産合計	166,481	162,632
繰延資産合計	34	29
資産合計	337,283	327,298
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,171	16,665
短期借入金	4,100	3,200
未払法人税等	7,161	1,830
賞与引当金	1,212	322
その他	28,725	30,542
流動負債合計	60,370	52,561
固定負債		
社債	22,000	22,000
長期借入金	11,000	11,000
退職給付引当金	3,631	3,651
ポイント引当金	2,786	2,758
その他	3,976	4,157
固定負債合計	43,394	43,567
負債合計	103,764	96,129

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成24年６月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	62,504	62,504
資本剰余金	62,942	62,942
利益剰余金	135,132	136,412
自己株式	△12,249	△15,670
株主資本合計	248,330	246,189
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△79	△375
繰延ヘッジ損益	10	△0
土地再評価差額金	△16,953	△16,953
為替換算調整勘定	－	53
その他の包括利益累計額合計	△17,023	△17,275
新株予約権	421	389
少数株主持分	1,789	1,865
純資産合計	233,518	231,169
負債純資産合計	337,283	327,298

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）
売上高	49,323	51,728
売上原価	21,867	22,303
売上総利益	27,455	29,425
販売費及び一般管理費	23,185	24,312
営業利益	4,269	5,112
営業外収益		
受取利息	186	134
受取配当金	74	83
不動産賃貸料	259	188
その他	131	180
営業外収益合計	651	587
営業外費用		
支払利息	48	33
デリバティブ評価損	78	541
不動産賃貸原価	175	148
為替差損	175	42
その他	24	88
営業外費用合計	502	854
経常利益	4,418	4,845
特別利益		
固定資産売却益	106	－
特別利益合計	106	－
特別損失		
固定資産除売却損	86	37
減損損失	428	123
投資有価証券評価損	－	298
特別損失合計	515	458
税金等調整前四半期純利益	4,010	4,387
法人税等	1,486	1,744
少数株主損益調整前四半期純利益	2,523	2,642
少数株主利益	105	90
四半期純利益	2,418	2,551

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,523	2,642
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△415	△294
繰延ヘッジ損益	－	△10
為替換算調整勘定	－	53
その他の包括利益合計	△415	△251
四半期包括利益	2,108	2,390
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,002	2,299
少数株主に係る四半期包括利益	105	90

（３）継続企業の前提に関する注記

当第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

当社は、平成24年５月11日開催の取締役会決議により、会社法第165条第３項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得を実施いたしました。この結果、当第１四半期連結会計期間において自己株式が3,420百万円増加し、当第１四半期連結会計期間末における自己株式は15,670百万円となっております。